

使用上のご注意

- ・ ライミックスプラスは漆喰が原料の自然素材でできたセラミックスです。大理石やライムストーンなどの天然石材と同様に、施工後は適切な表面保護およびメンテナンスが必要となります。
- ・ 床に使用する場合には、石材と同様の経年的な汚れなどで風合いが変化していきますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 土足床に使用する場合には、雨水や履き物に付着した水ですべりやすくなりますので、足ふきマットを設置するなどして表面が濡れないようにしてください。
- ・ ライミックスプラスは石灰質です。表面に水分が長時間付着していると、天然大理石やライムストーンと同様に水シミが発生することがあります。水分等が付着した場合は速やかに拭き取ってください。

表面保護について

ライミックスプラスの長期的な汚れを防ぐために、大理石やライムストーンと同様の表面保護を行う必要があります。施工直後に石材用の浸透性保護剤{(株)ミヤキ：クレストン}の塗布を行ってください。ライミックスプラスは石材用保護材メーカーの(株)ミヤキの技術協力を受けております。

浸透性保護剤の再塗布

- ・ 浸透性保護剤の再塗布サイクルについては使用場所、汚れ状況および周囲状況によって異なりますが、人通りの多い土足床の場合で半年に1回程度を目安としてください。その他詳細は下記メーカーにお問合せください。
- ・ 使用浸透性保護剤 : クレストン (株)ミヤキ

株式会社ミヤキ(本社)

TEL:092-713-0001 FAX:092-741-8606

福岡市中央区大手門1丁目2-23 大手門タワー1105号

クレストンの塗布方法

- ・ モップ、ローラー等で基材表面にクレストンを塗布します。約10~20分経過して表面を乾いたウエス等で乾拭きして下さい。放置しておくと塗りムラが残る可能性があります。
- ・ 塗布時に目地部にもたっぷりクレストンを染み込ませてください。
- ・ スプレー施工はしないで下さい。
- ・ 塗布後4~5時間は歩行しないようにして下さい。
- ・ 塗布後24時間は水がかからないようにして下さい。

その他はラベルに記載されている注意事項に従って使用してください。

メンテナンスについて

通常のメンテナンス

- ・ 普段から砂、泥などの除塵を行い、軽い汚れはやわらかい布で乾拭きします。
- ・ 通常の汚れは固く絞った雑巾で水拭きし、乾いた布で十分に乾拭きしてください。
- ・ 汚れが付着した場合は中性洗剤を使用して拭き取り、水拭きした後、乾いた布で十分に乾拭きしてください。
- ・ 飲料水や調味料、油等が付着した場合には、直ちに拭き取ってください。長時間付着しているとシミが残る可能性があります。特にジュースや酒の場合、種類によってはライミックスプラスの表面が侵されて、質感が変わる危険があります。
- ・ 汚れたまま時間が経過すると汚れの除去が困難となります。汚れたら速やかに清掃することが肝要です。
- ・ 酸性洗剤での洗浄は絶対に避けてください。表面の質感が変わり、色むらが発生する恐れがあります。

付着したシミの除去方法

- ・ 手垢や鉛筆汚れは消しゴムで落とせる場合があります。
- ・ コーヒーや醤油等のシミには塩素系漂白剤が有効です。薬剤を脱脂綿等に染み込ませ、汚染場所に湿布します。10分程度した後脱脂綿を除去して水拭きをしてください。1回でシミが除去できない場合は2~3回繰り返して行ってください。ただし長時間の湿布は避けてください。湿布を繰り返してもシミが落ちない場合は白華の可能性があります。
- ・ 水性インクの汚れは中性洗剤や塩素系漂白剤を染み込ませた布で軽く拭き取り、その後水拭きをしてください。
- ・ 油性インクの汚れは軽いものであれば上記の塩素系漂白剤による湿布で落とせる場合があります。それで落とせない場合は有機溶剤で清掃しますが、顔料成分がライミックスに浸透し、清掃時に汚れが拡散することがあるため、専門業者による清掃をお勧めします。

汚れ、シミ、白華の除去が困難な場合は、専門業者による清掃をお勧めします。

次のものは使用しないでください。色むらが発生したり、表面が傷んで質感が変化する恐れがあります。

- ・ 酸系洗剤
- ・ クレンザー、ガラスクリーナー等の研磨剤
- ・ 金属タワシ、サンドペーパー等
- ・ 油分を含むクリーナー、化学雑巾